



中国 M2M 市场通信

Volume 4 No.8

2015年8月



キャセイ・トライテック株式会社

CATHAY TRI-TECH, INC.

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-5 新横浜ユニオンビルANNEX 7F
TEL: 045-476-5170(代) FAX: 045-476-5171
URL: www.cathay.jp



中国 M2M 市場通信 '15.08 月

【目次】

産業研究

- [中国の 2015 年物聯網市場、規模は 7,500 億元](#)
- [物聯網応用ランキング、Wearable デバイスがNo.1](#)

業界利用

- [IBM と ARM、物聯網の拡充を共同推進](#)
- [ARM と Thundersoft、中国での ECO システム推進で連携](#)

モバイルモノのインターネット

(今号では記事はありません)

スマート都市

(今号では記事はありません)

業界動向

- [中国電信物聯網 4G コアネットワーク集中購買、Huawei が独占](#)
- [Baidu、IoT プラットフォームを発表](#)

新製品

- [LG、物聯網センサーを発表](#)

展示会速報

- [Ofweek 2015 中国スマートファミリオンライン展示会](#)

産業研究

■ 中国の2015年物聯網市場、規模は7,500億元

中国の物聯網産業は、育成期から成長期に入ったとみられる。今年度の物聯網産業の成長率は30%を超えると見込まれ、関連産業を含めたトータルな市場規模は、7,500億元に達するとみられる。

中国の物聯網関連産業には、チップセット、部品、ソフトウェア、システムインテグレーション、通信サービス、物聯網サービスまで、完全なサプライチェーンができています。2014年に6,000億元を超える産業規模となった。その時点で、M2M 端末が6,000万台、RFID 産業は300億元の規模となり、センサー市場はほぼ1,000億元であった。

中国の物聯網及びその関連企業数は3万社以上あり、中小企業が85%を占めている。

■ 物聯網応用ランキング、Wearable デバイスがNo.1

2015Q2の物聯網応用ランキングでは、Wearable デバイスがNo.1になった。Apple Watchのお蔭だった模様である。

その物聯網応用ランキングは、IoT Analytics より四半期ごとに発表され、実際の各物聯網応用の市場規模ではなく、応用への注目度を反映している。

2015Q2 現在の、最も注目されている物聯網応用は以下の通り。

- Wearable デバイス(+1)
- スマートシティ(+1)
- スマートファミリー(-2)
- スマート農業(+2)

業界利用

■ IBM と ARM、物聯網の拡充を共同推進

IBM は先日 ARM と合作することを発表した。ARM®の mbed™製品群やデータ分析サービスを結合して、IBM IoT Foundation という物聯網プラットフォームを拡充する。その技術の融合において、ユーザは生産設備、ウェザーセンサー及びWearable デバイスなどのデータを収集し、分析し、そして適切なアクションを取ることが出来る。

IBM IoT Foundation は、「SoftLayer」を基盤とする「IBM Bluemix」環境内で配備される。なお Bluemix はウェブやモバイル、ビッグデータ、スマートデバイス向けのアプリケーションの開発や管理、運用を行うための同社のクラウドベースのプラットフォームとなっている。IoT Foundation は本質的に、 Bluemix を拡張するものだと言える。



また、IBM は IoT のためのパートナープログラムとともに、さまざまなパートナー企業のデバイスやチップ、ゲートウェイを接続するための、「レシピ」として知られる一連の正式な手順も発表する予定。パートナー企業には ARM、B&B Electronics、Elecsys、Intel、Multi-Tech Systems, Inc.、Texas Instruments が含まれるとみられる。

■ ARM と Thundersoft、中国での ECO システム推進で連携

ARM と Thundersoft は、中国の物聯網産業の発展を促進するため、ARM の革新的 ECO システムを、手間なしで導入できるサービスの構築で連携すると発表した。そのサービスは、スタートアップ企業や OEM ベンダーに、ソフト/ハード込みの IoT デバイスマジュールを提供するだけでなく、システムレベルの製品開発サービス及び ARM のトータル ECO システムのサポートも提供する。

北京の中関村に最初の事務所を設立し、中国にトータルで四つの事務所を設立する予定。中関村事務所には ARM mbed 製品プラットフォーム革新ラボと ARM Cortex の、物聯網向けシステム SoC 設計ラボも設立する。

業界動向

■ 中国電信物聯網 4G コアネットワーク集中購買、Huawei が独占

中国電信オフィシャル情報によると、中国電信物聯網4G コアネットワーク設備入札が最近行われたが、今回の集中購買では Huawei 一社しか落札できなかったとのこと。

■ Baidu、IoT プラットフォームを発表

9月8日に開催した、オープンフォーラム“Baidu 世界 2015”において、Baidu モバイルの総経理、物聯網 R&D センター責任者の梁氏は、“Baidu IoT—全てをクラウドに接続”というテーマでスピーチし、Baidu の IoT 発展戦略について述べた。

Baidu はアーティフィシアルインテリジェンス、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、モバイルサービス、セキュリティなどの先端領域でノウハウを蓄積することにより、もう一方の Baidu のインターネットサーチや地図サービスを支援することが出来、物聯網の発展に役に立つと述べた。

会議で“Baidu IoT”という物聯網プラットフォームを発表した。Baidu IoT はセキュリティ、大容量アクセス、スマート、友好という特徴を持ち、“Make things change”というコンセプトに従い、物流、エネルギー、医療、建築及びスマートファミリなどの分野に進出するという。

新製品

■ LG、物聯網センサーを発表

LG は最近 SmartThinQ という物聯網センサーを発表した。既に所有している家電製品を、スマート家電に変身させることができるとのこと。

SmartThinQ を家電製品に貼り付けると、製品の振動や温度をモニタし、その動作状況を判断して、ユーザの携帯 APP に通知する。たとえば、古い洗濯機に SmartThinQ を貼り付けると、洗濯機振動の仕方が洗濯時や脱水時で違うことから、SmartThinQ がその振動状況より洗濯機の状態を判断し、選択終了時に携帯 APP 経由でユーザへの通知が出来るというもの。

正式販売時期については、未発表である。



展示会速報

■ OFweek 2015 中国スマートファミリオンライン展示会

会期: 2015年12月16日~12月17日

URL: <http://expo.ofweek.com/smarthomefair/>

主催: OFweek ポータルサイト

出展内容:

- 1) スマートファミリシステム
- 2) スマート家電
- 3) 建築スマート化システム及び製品
- 4) スマート化総合応用
- 5) スマートハードウェア及び他

- ご愛読ありがとうございました -